



第4章

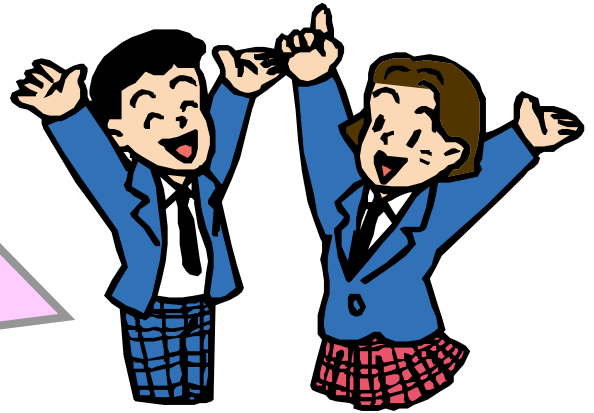
4 思 春 期 編





にのへ市民がめざすもの

思春期に自分や相手の  
将来について考える  
ことができる



Hello, how are you doing?

相手のことを考えよう！  
自分のことを考えよう！

大人になろうとしている  
子どもたちが、  
将来どのように生きたいの  
か学ぶように支援してい  
きます。



Hello, how are you doing?



めざすもの

### IV 子どもが思春期に自分や相手の将来について考えられるようになる

必要なこと

(1)子どもが生と性について学ぶことができる

(2)子どもが病気、けが、こころの問題を相談できる

(3)子どもが相手を思いやる心をもてる

そのためには、こんなことが大切です

子どもが生や性についての正しい知識を身につける機会がある

子どもが自分のこころの問題やからだの問題をきちんと相談できる相手がいる

子どもがボランティア活動に参加する機会がある

子どもが親と向かい合って話ができる



みんなの行動目標

#### 市民自らの行動

- ・自分の悩みを人に相談しよう。
  - ・ボランティア活動に積極的に参加し、子どもやお年寄りの方と交流していきましょう。
- など

#### 行政・関係機関の取り組み

- ・相談窓口のPR
  - ・性教育・性感染症・生活リズム等の情報の提供
  - ・他機関との連携を図り情報の提供をする
- など

みんなの取り組みを右の項目で評価し、計画を見直ししていきます

十代の妊娠中絶実施率  
児童・生徒における痩身傾向児の割合  
児童・生徒における肥満傾向児の割合

など



### (1) 子どもが生と性について学ぶことができる

- ・子どもが生や性についての正しい知識を身につける機会がある



このような取り組みをしていきます

#### ① 生や性についての正しい知識を普及していきます

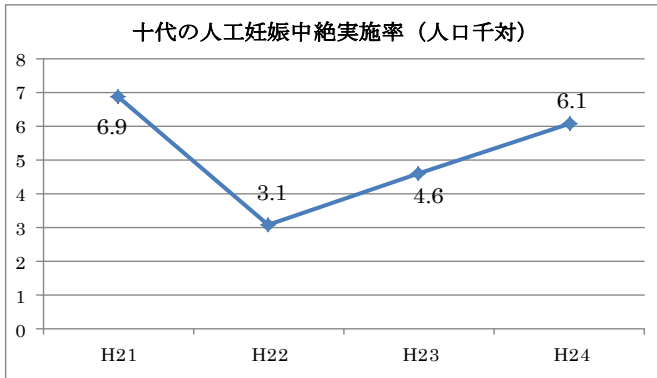
事業内容	実施場所・機関	H27～H36年度
命の大切さについて	小学校・中学校 健康福祉部子育て支援企画課 健康福祉部健康推進課	<p>命の大切さについての講座を開きます。</p> <p>医師や専門家の連携により性教育や性感染症の情報を提供するよう努めます。</p> <p>食育等を通じ、食の大切さや、肥満、痩せについてなど個々にあったアドバイスをします。</p> <p>各関係機関と連絡調整し事業の進め方について検討していきます。</p>
学校で性教育	小学校・中学校・ 高等学校	
性感染症についての情報の提供	二戸保健所 小学校・中学校 高等学校 健康福祉部健康推進課 教育委員会	
肥満、やせなどの生活習慣について・運動の必要性について	小学校・中学校 高等学校 健康福祉部健康推進課	

#### 市民自らの行動

- ・クラミジア、エイズなどの性感染症についての正しい知識をもちましょう。
- ・望まない妊娠をしないよう、避妊についての正しい知識をもちましょう。
- ・携帯電話の使い方について親子でよく話しあい、出会い系サイトによる性被害を防ぎましょう。
- ・自分のからだを大切にしましょう。

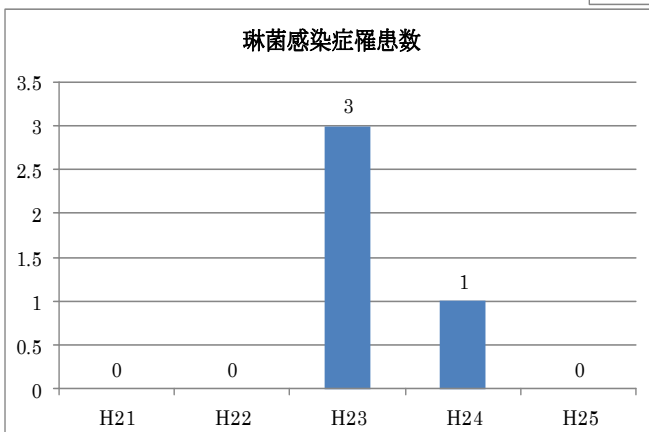
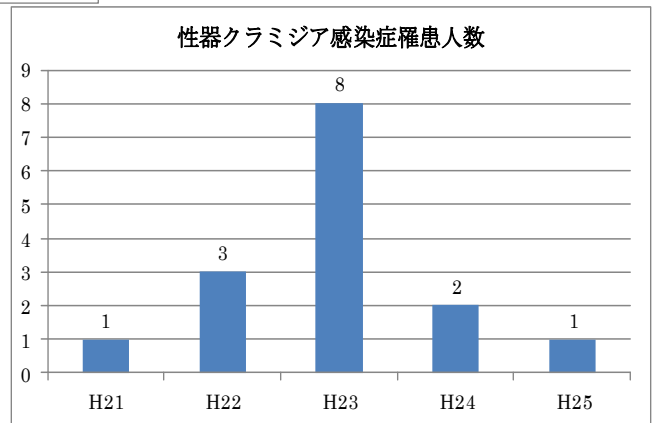


	現状値 H25 年度	中間値 H31 年度	目標値 H36 年度
10 代の人工妊娠中絶実施率(人口千対)	6.1% (H24)	5.5%	5.0%
10 代の性感染症罹患率(15～19 歳)			
性器クラミジア感染症	1 人	0 人	0 人
淋菌感染症	0 人	0 人	0 人



10 代の人工妊娠中絶実施率は、平成 21 年では 6.9%、平成 24 年では 6.1%であった。

10 代の性器クラミジア感染症罹患人数は、平成 21 年、25 年は 1 人であった。



淋菌感染症罹患数は、平成 21 年、22 年、25 年は 0 人であった。



## (2) 子どもが病気、けが、こころの問題を相談できる

- ・自分のこころの問題やからだの問題をきちんと相談できる相手がいる
- ・子どもが父親や母親と向かい合って話ができる



このような取り組みをしていきます

### ① 思春期の子どもたちやその親が、悩みや不安について相談できるよう相談窓口についてさらに充実していきます

事業内容	実施場所・機関	H27～H36年度
学校生活や健康等の相談	小・中・高等学校 (養護教諭)	<p>親や子どもが、1人で悩まずに気軽に相談できるように、相談窓口のPRとその充実をはかっていきます。</p> <p>こころだけでなく、身体や薬のことについてのアドバイスもします。</p> <p>小学校、中学校、高等学校、教育委員会、PTAなどと連携をとっていけるようなシステムづくりを考えていきます。</p>
いじめ・不登校・進学友人関係等について	二戸市教育委員会 小・中・高等学校	
健康・こころ、薬の健康相談	小・中・高等学校 健康福祉部健康推進課 浄法寺総合支所市民課 二戸薬剤師会 二戸保健所	
身体・こころ・性等の悩み相談	法務局 健康福祉部子育て支援企画課	
いじめ 110 番	二戸警察署	

#### 市民自らの行動

- ・一人で悩まずに、自分の悩みを人に話してみましよう。
- ・親は子どもの様子がおかしいと感じたり、子どもが悩んでいると感じたら、アドバイスをしてあげましよう。
- ・親は我が子だけでなく、普段から近所の子どもたちにも声がけをしていましよう。

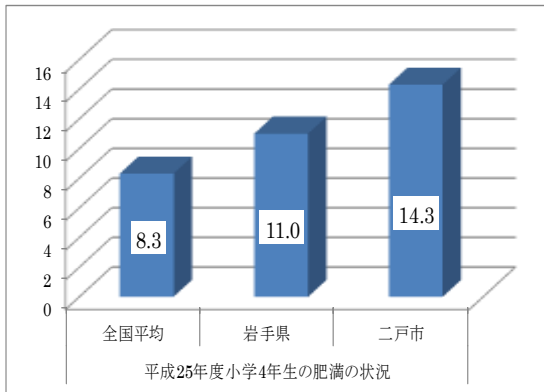


	現状値 H25 年度	中間値 H31 年度	目標値 H36 年度
10代の自殺数	0人 (H24)	0人	0人
児童・生徒における肥満傾向児の割合			
小学4年生	14.3%	11.0%	8.3%
中学1年生	19.8%	16.1%	12.4%

### 10代の自殺数

H19	H20	H21	H22	H23	H24
0	0	1	0	0	0

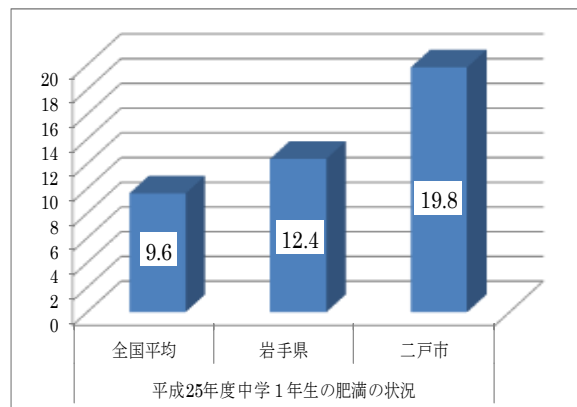
### 平成25年度小学4年生の肥満の状況



平成25年度小学4年生の肥満の状況は、二戸市は14.3%となっており、国、県と比較すると高くなっている。

### 平成25年度中学1年生の肥満の状況

平成25年度中学1年生の肥満の状況は、二戸市は19.8%となっており、国、県と比較すると高くなっている。





### (3) 子どもが相手を思いやる心をもてる

- ・子どもがボランティア活動に参加する機会がある



このような取り組みをしていきます

#### ① ボランティア活動に参加する機会を活用していきます

事業内容	実施場所・機関	H27 ~ H36 年度
高校生ボランティア体験	高等学校	小学校、中学校、高等学校、教育委員会 PTA などと連携をとり、ボランティア活動についての情報を提供するように努めます。
ボランティア参加	健康福祉部健康推進課	
健康フェスティバルへの参加	健康福祉部健康推進課	

#### 市民自らの行動

- ・ボランティア活動に積極的に参加しましょう。
- ・ちびっこやお年寄りの方と積極的に交流していきましょう。



ボランティア体験をしたことがある高校生の割合





## 『プランの評価指標』

◎…保健水準の指標  
 ☆…市民自らの行動指標  
 ◇…行政・関係機関等の取り組み指標

評価指標	現状値 H25年度	中間値 H31年度	目標値 H36年度
☆ 10代の喫煙率			
中学1年生	0.4%	0%	0%
高校3年生	1.3%	0%	0%
☆ 10代の飲酒率			
中学3年生	0%	0%	0%
高校3年生	1.3%	0%	0%
☆ 朝食を欠食する子どもの割合			
小学5年生	0.4%	0.2%	0%
中学2年生	4.5%	2.0%	0%
☆ 家族など誰かと食事する子どもの割合			
小学5年生	100%	100%	100%
中学2年生	95.0%	98.0%	100%
◇ スクールカウンセラーを配置している 小学校、中学校	100%	100%	100%

## これから調査していく項目

- 1 10代の性感染症罹患率  
    (尖圭コンジローマ男女、性器ヘルペス男女)
- 2 児童・生徒における痩身傾向児の割合
- 3 歯肉に炎症がある10代の割合
- 4 スクールソーシャルワーカーの配置状況
- 5 ボランティア体験をしたことがある高校生の割合